

日本天文学会 2013年春季年会のお知らせ

2013年春季年会は、2013年3月20日(水)から3月23日(土)までの4日間、埼玉大学(埼玉県さいたま市)にて開催します。プログラムや交通案内等は、天文月報の第106巻3月号(2013年2月20日発行)に掲載予定です。

(1) 年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただくことになっております。

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	3,000円(不課税)	5,000円(消費税込み)	講演ありの場合、参加費は無料
講演登録費	3,000円(不課税)	10,000円(消費税込み)	(1講演につき)
講演予稿集	2,000円(消費税込み)	2,000円(消費税込み)	

※会員として年会に参加を希望される方は、講演申込時までに、必ず入会の手続きを済ませてください。

講演申込時点での会員種別で、料金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

2013年1月からの会員予約者も会員料金といたします。

事業年度の変更に伴い、今回に限り3カ月間(2013年1月～3月)の入会も可能です。

※講演申込をされた方は、以下に記す支払期限内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は、別途支払期限外事務手数料1,000円を請求させていただきます。

※講演なしで参加のみの場合は、従来どおり、当日年会受付にて参加費を現金でお支払いください。

※クレジットカード会社、金融機関の利用明細をもって、本学会の領収書とさせていただきます。

※当日年会受付でお渡しする名札で、年会の参加証明といたします。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会 員：講演登録費 3,000円(1講演につき)

非会員：講演登録費 10,000円(1講演につき)

※講演予稿集は、予約され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、年会当日現金で購入するか、上記金額に2,000円を足してお支払いください。原則年会会場でお渡します。

※お支払いいただいた講演登録費は、原則として返金いたしません。

・支払期間

2012年12月1日(土)～12月14日(金)

・支払方法

●原則クレジットカード支払となりました。

<http://www.asj.or.jp/credit/2013a/> より決済の手続きをしてください。

(取扱いカードは、VISA、MasterCardの2種類です。)

支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス(アナザーレーン)を利用しております。

※クレジットカード支払が困難な方は、銀行振込、現金書留、持参でお支払いください。

●銀行振込

銀行名：三菱東京UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通4434400

口座名義：社団法人日本天文学会(シャダンホウジンニホンテンモンガクカイ)

※振込人の名前の前に、会員番号(非会員の方は9999)をお書きください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	関連項目
講演申込	郵 送	2012年12月10日(月) 必着
	電子メール	2012年12月 4日(火) 正午 ～12月11日(火) 正午 ^(注1)
		(3), (4), (5), (6) 参照
講演登録費支払期間	2012年12月 1日(土) ～12月14日(金)	(1) 参照
複数講演の順序指定	2012年12月18日(火) 正午まで	(7) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2013年 3月 5日(火) 正午まで	(8) 参照
最新情報コーナー	年会会期中まで	(9) 参照
保育室の利用申込	2013年 2月19日(火) 正午まで	(10) 参照
講演の変更など	わかった時点ですぐに	(11) 参照
各種の会合申込	2012年12月18日(火) 正午まで ^(注2)	(12) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2012年12月 1日(土) 正午まで	(13) 参照
正会員用展示ブース	2012年12月 1日(土) 正午まで	(14) 参照
懇親会の会期前申込	2013年 2月28日(木) まで	(15) 参照
旅費一部補助	2013年 1月20日(日) 必着	(16) 参照
ジュニアセッション講演申込	2013年 1月25日(金) 必着	本号「ジュニアセッションの お知らせ」参照

(注1) 電子メールの自動受付は2012年12月12日(水) 午前9時までに行いますが、2012年12月11日(火) 正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として2012年12月11日(火) 正午までに投稿してください。

(注2) 2012年12月18日(火) の受付期限を過ぎた場合、年会予稿集、天文月報に案内は掲載できませんが、2013年3月5日(火) 正午まで申込みを受け付けます。

連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: committee2013@nenkai.asj.or.jp

委員長 宮田隆志 (年会実行理事・東京大学)

電話: 0422-34-5084 FAX: 0422-34-5041

年会係 長谷川直子 (日本天文学会)

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 田代 信 (埼玉大学)

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理工学研究科

e-mail: tashiro@phy.saitama-u.ac.jp (電話/FAX: 048-858-3371)

年会開催期間 (2013年3月20日～23日) の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。
年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は次の19分野です。

J1. 高密度星 (BH・NS), J2. 高密度星 (WD・GRB・その他), K. 超新星爆発, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P1. 星・惑星形成 (星形成), P2. 星・惑星形成 (系外惑星), Q. 星間現象, R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V1. 地上観測機器 (電波), V2. 地上観測機器 (その他), W1. 飛翔体観測機器 (X線・ γ 線), W2. 飛翔体観測機器 (その他), X. 銀河形成, Y. 天文教育・その他

- ・「企画セッション」は次の2件です。

A. 「ASJ-KAS Joint Session on Space Weather and Space Climate」

(和名: 日韓合同セッション・宇宙天気と宇宙気候) (略称: 天気宇宙)

世話人: 柴田一成 (京都大学), 常田佐久 (国立天文台), 草野完也 (名古屋大学), 小原隆博 (東北大学), 浅井 歩 (京都大学) (以上, 日本側世話人) Gwangson Choe (キョンヒ大学), Young-Deuk Park (KASI), Yong-Jae Moon (キョンヒ大学), Tetsuya Magara (キョンヒ大学)*, Kap-Sung Kim (キョンヒ大学) (以上, 韓国側世話人) *は確認中)

B. 「超巨大ブラックホールの起源」(略称: 超巨大BH)

世話人: 秋山正幸 (東北大学), 岩室史英 (京都大学), 上田佳宏 (京都大学), 梅村雅之 (筑波大学), 大須賀 健 (国立天文台), 谷口義明 (愛媛大学), 長尾 透 (京都大学), 嶺重 慎 (京都大学), 森 正夫 (筑波大学), 吉田直紀 (東京大学), 和田桂一 (鹿児島大学)

- ・企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みに際しては世話人からの指示にしたがってください。
- ・A「ASJ-KAS Joint Sessions on Space Weather and Space Climate」は, 日韓合同セッションで, 今年度は日本で行うものです。

(4) キーワード

- ・分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- ・観測機器分野 (地上・飛翔体) で, 関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- ・特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び, それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎推奨キーワード

高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化
 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
 飛翔体観測機器: 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- (a)口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b)ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表); (c)ポスター講演・口頭発表なし (ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- 講演者1人あたり可能な講演数は最大3件までです。また、(a)講演は1人1講演までで、3件目の講演は(c)講演 (ポスターのみ) に限ります。
- 口頭発表用にプロジェクタを用意します。プロジェクタに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は縦180 cm, 横90 cmです。)

(6) 講演の申込方法

◆郵送による申込みの場合

- 規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記のうえ、e-mailまたはFAXで天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申込みの場合

- 年会のWebページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心掛けてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずです。以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2013年2月20日付で発行する予定です。年会のwebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意ください。

※講演者は必ずしも筆頭筆者でなくても結構です。講演登録費は講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

- グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号 (分野, 発表形式を含む番号), 2. 講演者名

(b)講演は3件一括りが原則です。3件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDLは、緊急性・トピックス性に富んだものに限ります。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由 (個人的理由は不可) が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- 上記の理由を添えて予稿原稿を期日までに年会実行委員会宛に送付してください。
- PDLの講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表), または (c)ポスター講演・口頭発表なし (ポスターのみ) です。ただし、プログラムに余裕がない場合は (c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 年会会期中の保育室

- 保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載します。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へe-mail (hoiku2013@nenkai.asj.or.jp) でお問合せください。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。
- 講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても講演登録費の返金はありません。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> よりお申込みください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります。
- 申込みが多数の場合は、ご要望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- 多くの会員が関心をもつ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味をもつテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

(14) 正会員用展示ブース

- 正会員用の展示ブースのスペースを設ける予定です。展示を希望される場合は、年会実行委員会までご相談ください。

(15) 懇親会

- 懇親会は、3日目（2013年3月22日(金)）夜に、埼玉大学構内で開催予定です。会費は天文学会員かどうかにかかわらず、一般5,000円、学生3,000円の予定です。ただし参加券は200枚までの限定となっており、なくなり次第販売を終了させていただきます。会期前申込みの時点で参加券がなくなった場合、当日券の販売はいたしません。
- 会期前申し込みは、後日 tennet でお知らせする Web ページから申込んでください。締切は、2月28日(木) まで（ただし、参加券完売の時点で申込ページを閉じます）とさせていただきます。
- 懇親会の開催準備のため、参加希望の方は、できるだけ会期前申込みをご利用ください。

(16) 旅費一部補助

- 日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

宮田隆志（年会実行委員長）